

あいづわかまつ し

会津若松市のまちづくり オープンハウス2020

- 会津若松市の都市の現況や今後のまちづくりの方針に関するパネル展示を実施しています。
- 是非ご覧いただき、あなたのご意見をお聞かせください！



鶴ヶ城



会津若松駅



七日町駅



七日町通り



路線バス



神明通り



田園風景

(お問合せ先: 会津若松市都市計画課 TEL 0242-39-1261)

あいづわかまつ し げんきょう かだい じんこう

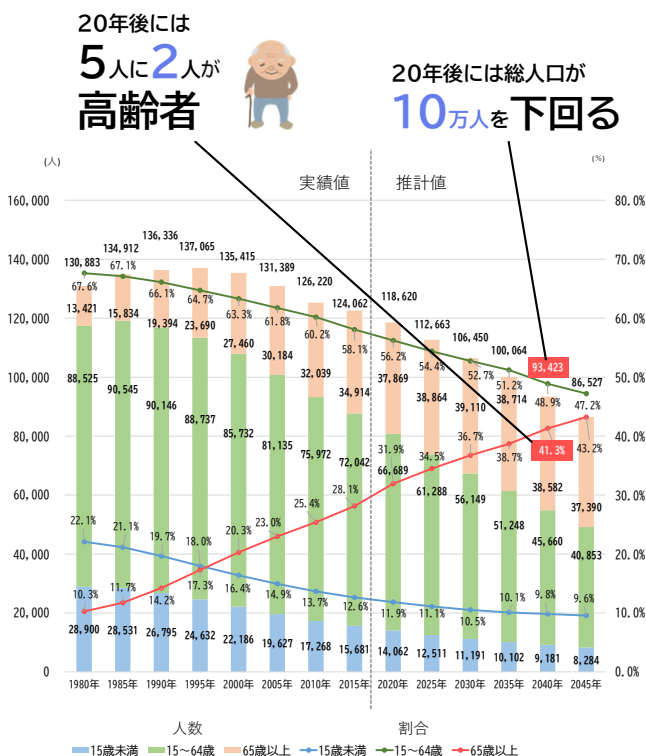
会津若松市の現況・課題①【人口】



人口減少・少子高齢化が見込まれる中で
様々な面で課題に直面する恐れがあるんだって！

まちの現状と将来

年齢別人口推移



このままだと...



少子高齢化が顕著に

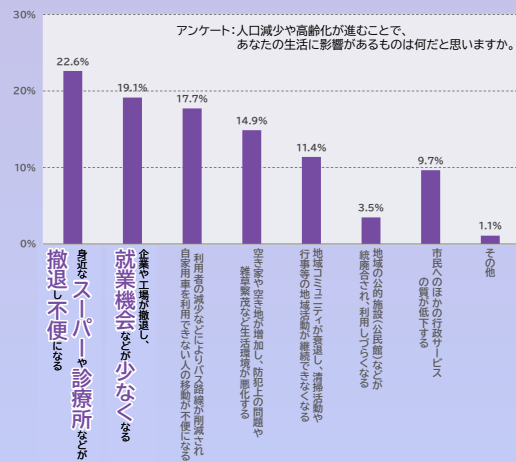
■これまでも進んでいた少子高齢化による社会的・経済的な影響が、今まで以上に大きくなってしまおう。



社会保障
負担が
増える！

にぎわいの喪失

■普段使っているお店が閉じてしまったり、雇用の喪失、空き家が増えたりなど、まちのにぎわいが失われてしまう。



そうならないために！

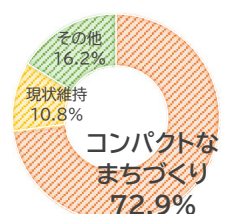
人口減少・高齢化に伴う変化に対応し、
持続的に成長できる都市構造を形成することが必要

まちなかへの居住の誘導等により

人口密度の維持を図っていくことが必要

コンパクトな
まちづくりが
求められている

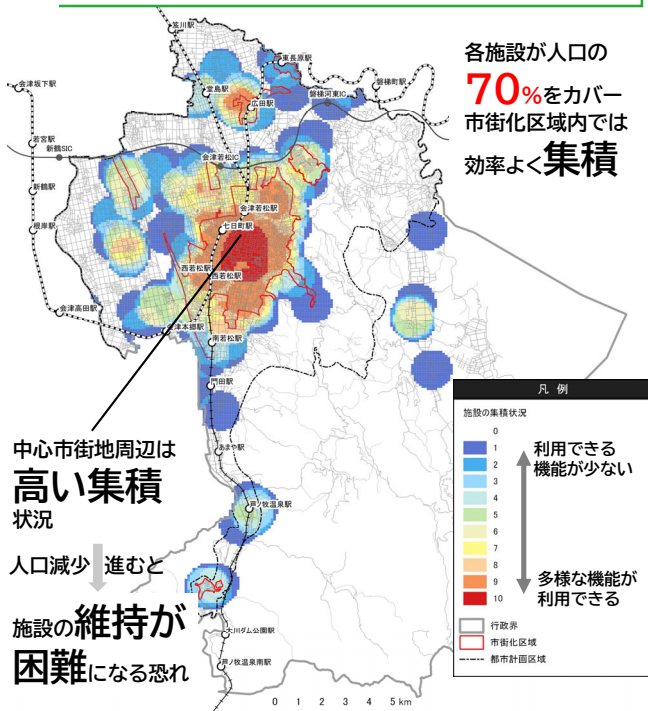
アンケート：
会津若松市が持続的な発展を遂げていくためには、今後どのようなまちづくりを行っていくべきだと思いますか。



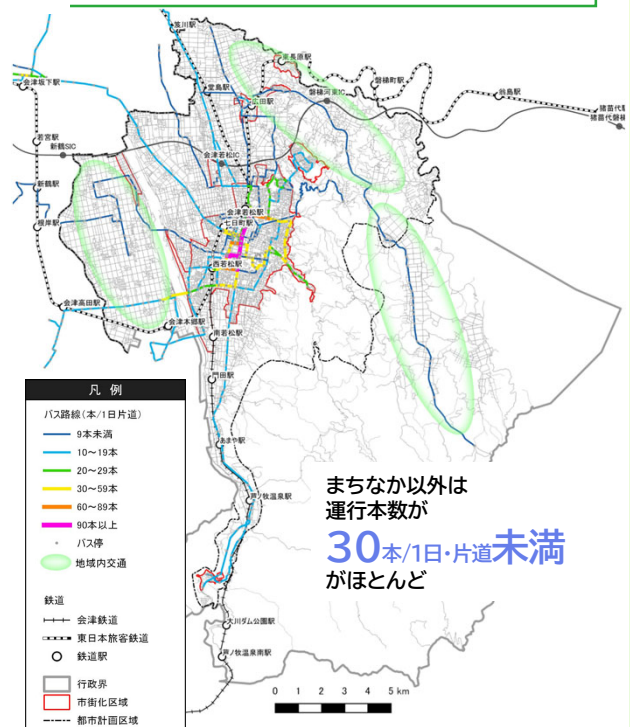
会津若松市の現況・課題②【都市機能】

まちの現状と将来

都市機能施設※



公共交通網



このまま人口減少がすすむと...

既存施設の撤退

- 施設周辺の人口密度が低下することによって、スーパーや飲食店等の施設がなくなってしまう。



お店が
減る!

都市施設の維持が困難

- 古くなった上下水道や道路などの都市施設の更新が、費用増加により難しくなってしまう。



利便性の更なる低下

- 利用者が今よりもさらに減ることで、減便などサービス水準が低下し、不便になってしまう。



そうならないために!

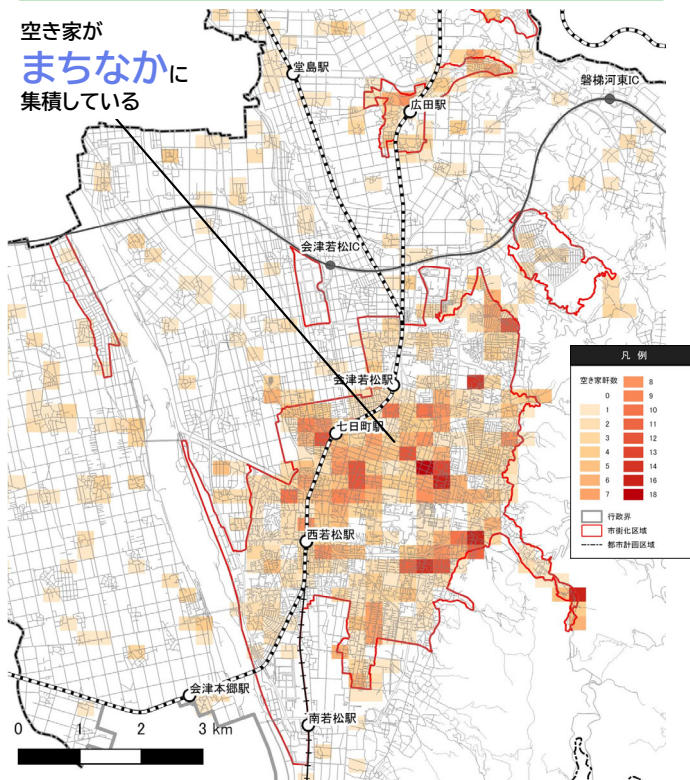
- 行政・医療・商業・福祉など、**利便性の高い現在の環境の維持**が必要
- まちなかと郊外部の拠点を結ぶ**公共交通の維持**が必要

会津若松市の現況・課題④【中心市街地】

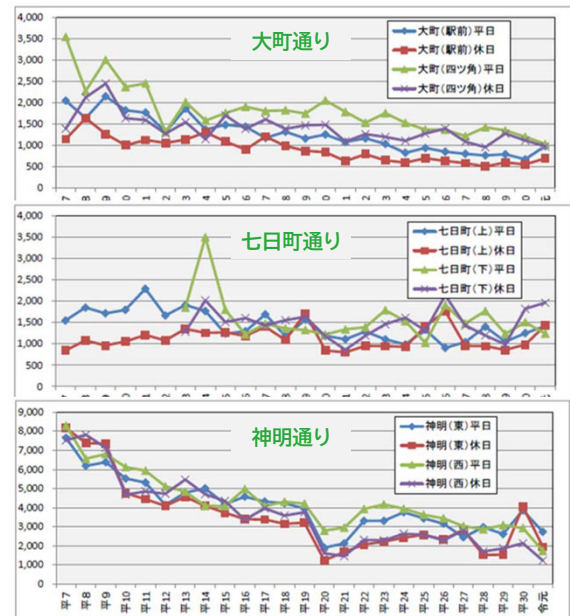
まちの現状と将来

空き家軒数

空き家が
まちなかに
集積している



歩行者通行量の減少



少しずつではあるものの
減少傾向

※出典 平成30年度認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告(会津若松市)

このままだと...

まちなかのスポンジ化

- 空き店舗や空き家が増加し、密度が低いスポンジ化が進み、まちなかの魅力の低下につながる。



シャッター
通り



市全体の活力低下

- 魅力が低下すると、にぎわいが減ってしまい、市の中心であるまちなかの活力が低くなっていく。



元気のない
まちなか

そうならないために！

- 本市の歴史・文化を活かしたまちづくりにより、まちなかの魅力を向上し、**にぎわいを創出**することが必要
- まちの成り立ちに配慮**した都市づくりが必要

立地適正化計画とは



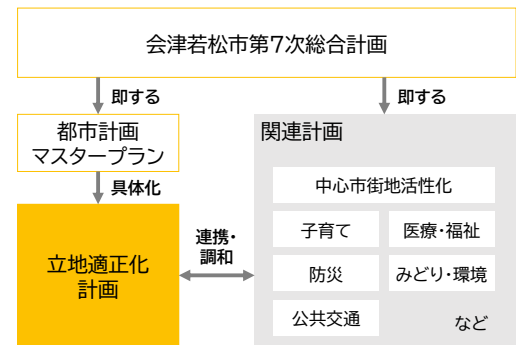
これらの課題を解決するために
新しい計画（立地適正化計画）の検討をしているよ！

立地適正化計画の目的

全国的に進む人口減少と
少子高齢化の進展を背景に、
今後も安心して快適な生活環境
の実現、財政面における持続
可能な都市経営などを可能と
するために創設された制度で
す。

本計画は、生活に必要な施
設を集める区域、住まいを集
める区域を決めることで、施
設や公共交通を使いやすい範
囲に集め、将来にわたって安
心して暮らせるまちづくりを
目指すものです。

位置づけ



立地適正化計画とは

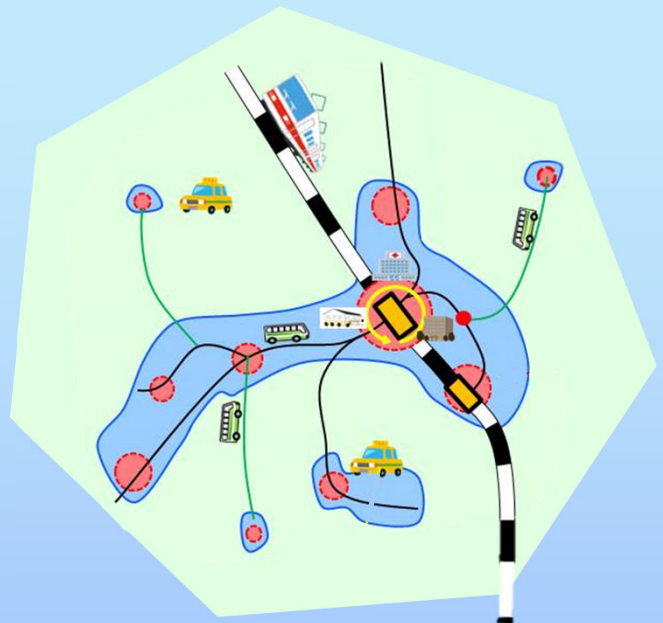
居住誘導区域

■人口密度を維持することにより、生活サービスやコ
ミュニティが続くようにするため、居住を誘導すべき
区域です。



都市機能誘導区域

■都市機能を拠点に誘導および集約することにより、
各種サービスの効率的な提供を図る区域です。



地域公共交通

■各拠点や居住地域を結ぶ公共交通の維持・確保を図ります

まちづくりの方針と都市の骨格構造【案】

まちづくりの方針(ターゲット)【案】

じょうかまち れきし い
城下町の歴史を活かし
あんぜん あんしん
安全・安心につながるまち

会津若松市の城下町は会津盆地の標高の低い扇状地に位置しており、河川の氾濫による大規模な水害に備える必要がありました。

蒲生氏郷により城下町づくりが着手され、城下町全体を土塁で囲み、水害への安全性を高める「惣構え」によるまちづくりが行われました。
また、計画的な町割りが進められ、城の近くに侍屋敷を置き、外堀の周りは商人や職人の住む町家が配置され、漆器や酒造りなどの手工業が奨励されました。これらのまちづくりが現在の会津若松の基礎となっています。

会津若松市には、こうした歴史・文化・生業に加え、ICT関連産業や郷土愛や強固な人と人のつながりなど、多様な資源を有しています。
一方、人口減少・高齢化に伴う空き家・空き地問題や移動手段の確保、激甚化する災害への対策など、安全・安心な暮らしを支える都市づくりが必要となっています。

そこで、本市の有する魅力や強みに新しい考えや取り組みを取り入れながら、市民や観光客が集う、にぎわいや活気のある都市づくりを進めます。
さらに、安全・安心を確保し、子育て世代や高齢者をはじめとするあらゆる世代が、スマートに暮らせる都市づくりを進めます。

誘導方針(ストーリー)【案】

■ 歴史・伝統を活かした中心地の磨き上げ

■ 安全・安心で誰もが暮らしやすい居住地の形成

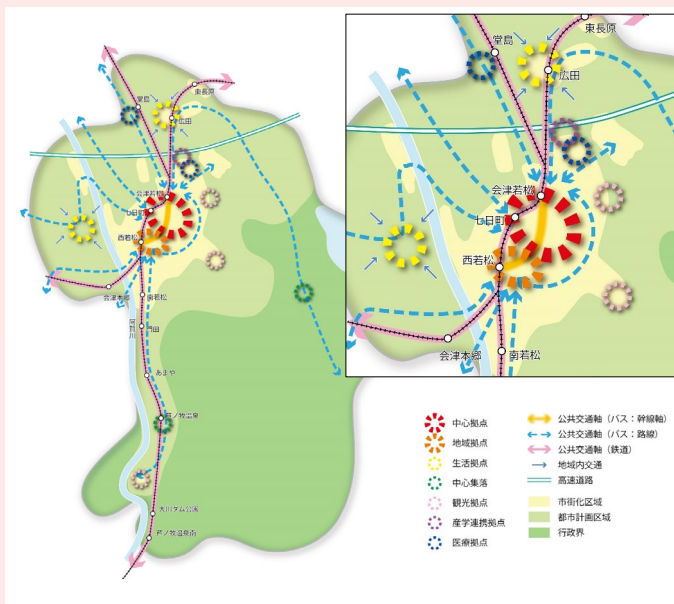
■ おでかけと暮らしを支える移動手段の確保

■ まちなかの魅力づくり(景観、回遊性、資源の磨き上げ)
■ 利便性を維持するための居住及び都市機能の維持・確保

■ 日常生活に必要な機能を集積した拠点形成
■ 機能を維持するための人口密度の維持
■ 防災・減災を踏まえた居住地形成

■ まちなかの交通利便性の確保
■ まちなかと地域の拠点をつなぐ公共交通の維持
■ 暮らしに必要な移動を支えるモビリティサービスの確保

都市の骨格構造【案】



区分	場所	選定理由
中心拠点	会津若松駅～鶴ヶ城周辺	会津若松駅周辺から鶴ヶ城及び七日町駅周辺にかけて、従来からの城下町であり、本市及び周辺市町村の中心地になっているとともに、人口・施設の集積があり、安全性が高い地域のため
地域拠点	西若松駅周辺～鶴ヶ城周辺	西若松駅周辺から鶴ヶ城周辺は、生活に身近な施設が集積しており、人口も多く交通利便性も良い地域であるため
生活拠点	河東支所周辺 北会津支所周辺	支所もあり施設の集積・交通の拠点にもなっており河東地域、北会津地域の中心地であるため
中心集落	湊小学校周辺 大戸小学校周辺	公民館・学校等が集積しており湊地域、大戸地域の中心地であるため
観光拠点	飯盛山周辺 東山温泉周辺 芦ノ牧温泉周辺	多くの観光客が訪れる本市を代表する観光資源であるため
産学連携拠点	会津大学周辺	高度情報産業等の育成・活性化を図っていく学術研究校であるため
医療拠点	会津医療センター周辺 会津中央病院周辺	会津医療センターは、会津地方の広域的な医療拠点となっているため。 会津中央病院は、会津地方の広域的な医療拠点となっているため。

都市機能誘導区域を設定

都市計画マスタープランに基づき維持



これからも策定に向けて検討は続いていくんだ！
また進んだらお知らせするね！

けいかく かん ねが 計画に関するアンケートのお願い



今後の計画づくりに反映していくよ！
当てはまる枠の中にシールを合計5つ貼ってね！

将来コンパクトなまちが実現したときに、
どんな場所で暮らしたいですか？

	拠点の周辺	拠点に アクセスしやすい 居住誘導区域内	広い土地のある 郊外
～20代			
30代 ～50代			
60代～			

1つ

2つの拠点に期待することはどれですか？

		スーパーや公共施設等の 誘致による 利便性	災害対策による 安全性	イベントや 人通りによる にぎわい	排気ガスやエネルギーの 使用量削減による 環境づくり	鶴ヶ城をはじめとした 観光振興
中心 拠点	会津若松駅 ～七日町駅周辺					
	神明通り・ 市庁舎周辺					
	鶴ヶ城～ 県立病院跡地周辺					
地域 拠点	西若松駅周辺 ～鶴ヶ城周辺					

1つ

1つ

1つ

1つ

◆他市実施風景



▲福島県会津若松市（公共施設にて実施）



▲千葉県船橋市（商業施設にて実施）